



# CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 越田和俣充  
幹事 小澤 啓一  
SAA 鈴木 雅之  
会報小委員 遠藤 洵

○例会日 毎週水曜日 (12:30 ~ 13:30) ○事務局 TEL/FAX (0246) 56 - 3473  
○例会場 ホテルミドリ E-mail: info@iwakinakoso-rc.jp

第 2837 回 例会 令和 2 年 11 月 11 日 (水・曇)

2020 - 21 年国際ロータリーのテーマ  
ロータリーは機会の扉を開く

## 会員卓話

### クラブ会報委員会

遠藤 洵 小委員長

## ◎会長報告—越田和俣充会長

皆さん、こんにちは。朝晩めっきり冷え込んで参りまして、各地で初冠雪の報を聞きますとまだ11月中旬とは言え冬の到来を感じるころでございます。いわきにおいてはこの1週間新型コロナが発生してありませんが、これからが本番です。十分な体調管理をお願い致します。話は変わりますが、本日の民報の論説に高齢者を狙った犯罪が載っていましたが成り済まし詐欺や悪質商法等の被害者の8割以上が65歳以上の高齢者だそうです。新型コロナの感染拡大による外出自粛で高齢者の孤立がその原因の1つであると言われております。小さな子どもさんへの声かけは問題になりますが、高齢者の声かけ運動はこれからもしたいと思えます。皆さんもその辺を留意して高齢者への声かけを宜しくお願い致します。本日の卓話は会員卓話です。宜しくお願いします。私からは以上です。

## ◎幹事報告—小澤啓一幹事

- ・ロータリー日本財団よりニュースが届いています。
- ・国際ロータリーよりロータリーリーダーシップ研修会パートⅢ及び米山奨学生による体験発表延期のご案内が届いています。
- ・ロータリー財団から越田和会長、蛭田剛会員、中野会員の3名に認証バッジが届いています。
- ・ロータリーの歴史年表を渡邊公平パストガバナーからいただきコピーして入れておきました。

## ロータリーソング 奉仕の理想

—今月はロータリー財団月間です—

ロータリーの行動規範  
影山晴康 会員



・ガバナー事務所よりメールが2件届きました。内容は伊達西ロータリークラブの機能喪失による終決が2020年10月31日付でR I 細則及びロータリー章典に基づき承認されたこととお知らせします。ということです。2通目のメールにはクラブが自主解散した場合と今回のR I から終決宣言がされた意味の重要性の違いをご理解下さい。R I から終決宣言は前代未聞の事であり、重罪であってその張本人は決してロータリークラブに入会する資格は無く、入会させてはならないとのことです。

・パスト会長会議を例会終了後に開催いたしますので皆さん宜しくお願いします。

## ◎各委員会報告

### ◎出席委員会—高萩勝利小委員長

本日の出席状況は下記の通りです。なお、本日は出席奨励賞を差し上げたいと思えます。名前を呼びますので前の方へどうぞ。富澤藤利会員、赤津和三会員の2名です。おめでとうございます。



## ◇スマイルボックス委員会—金成通太委員



・新型コロナウイルス感染拡大予防にご協力をお願いします。越田和会長、星副会長、嵐会長エレクト、小澤幹事、林副幹事、鈴木、佐藤(政)、高萩、金成、木幡、洪佐、鈴木(敏)、影山、赤津(善)、相原、久野、渡邊公平パストガバナー、大平、斉藤各会員  
・出席奨励賞ありがとうございます。 富澤会員  
・前回休んでごめんなさい。

木村(博)、柏原、川口各会員

・本日早退ごめんなさい。 鈴木(雅) 会員

## ◎会員卓話

### クラブ会報委員会

遠藤 洵 小委員長

皆さん、こんにちは。クラブ会報委員会の遠藤でございます。改めて自己紹介をしますと今年5月に勿来地区に着任しました福島民報社の遠藤です。今年コロナ禍の中なのでロータリー以外で取材等でお会いする機会が無く私の顔を覚えていただいているか不安があるのでマスクを取りお話をしたいと思えます。私は1990年白河市生まれで30歳になりました。実家は日本蕎麦屋をやっております。元々は白河の駅前創業して約90年程歴史がある蕎麦屋です。県の飲食組合にも加盟しており、越田和会長には祖父と叔父が大変お世話になりありがとうございます。約20年前に皆さんなじみが深い289号線沿いに店を移しまして、南湖公園のすぐ近くで営業しております。私の両親だけでなく親戚がそろって経営しており、私が実家へ帰る時は店に顔を出して帰っています。皆さんがお越しになる際に遠藤さん居ますかと聞くと店員全員遠藤ですので、誰が私の両親かわからないと思えます。大晦日には、子ども、従兄、親戚一同で蕎麦屋の手伝いをしながら年を越すのが恒例行事になっております。私は、従兄から影響を受けて育ちました。青春時代は野球に打ち込みまして、その従兄達も皆野球をしており、3人甲子園に出場しています。1人目の従兄は仙台育英のキャプテンをやり甲子園で2度勝ちました。2人目の従兄は私と同じ白河中央中学校で全国3位を経験し、日大東北に進み日大東北のショートとして甲子園に出場しました。3人目は私と同じ歳の従兄ですが仙台育英に進みショートで甲子園で3回勝ちました。しかし、今や大リーガーの筒香選手のいる横浜に1点差で敗れました。私も強豪校で甲子園にという思いもありましたが、頭の出来が少し良かったので白河高へ進学し甲子園を目指しました。しかし、足の靭帯を損傷し最後は学生コーチになり甲子園を目指しました。私は甲子園へ行けませんでした。従兄達

の活躍や白河高で怪我をしながら野球を続けた経験が新聞に取り上げていただき、周囲の皆から認められてメディアの素晴らしさに気付きました。そこでメディアの道へ進もうと神奈川県文教大に進学しました。野球は出来ませんでしたので学園祭の実行委員に入り、学園祭のコンサート等を担当し、イベントの面白さに気づきイベントを通して町作りに取り組む会社でインターンをし経験を積みました。そして就職は新聞社かイベント会社にしようか考えている時に東日本大震災があり大学で経験しました。白河に帰るに帰れず大学に残り仲間とともに支援物資を集め被災地に送りました。状況が落ち着くと、学内でボランティア団体を立ち上げ私も含め学生30名位で岩手、宮城を回りボランティア活動を行いました。いわきのボランティアセンターへも行き江名でも手伝いをさせていただきました。この経験から、地元へ貢献したい、元気付けたい、新聞だったら記事とイベントが出来ると思い福島民報社に入社し現在に至っております。最後に弊社は地域作り会社という目的を掲げて紙面、広告、イベントを通して皆さんの力になれるように活動し応援したいと思いますので、何かありましたら声をかけて下さい。宜しくお願いします。

## ◎渡邊公平パストガバナーより報告



県北第2分区の伊達西ロータリークラブの件ですが、佐久間年度の次の鈴木年度(2017 - 2018年度)ガバナーが終了する時パストガバナーの皆さんにご指導ありがとうございましたという集まりがありました。その時伊達西ロータリークラブ会長さんについて、緊急提議が行われました。いろいろ問題があり機能していないクラブとしてR I から解散命令が出されました。

出席状況	正会員数	46名	カード出席	2名
	本日出席会員数	31名	本日の修正出席率	76.74%